対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	茨城国体推進事業					予算事業名	茨城国体推進事業費
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			10	06	01	2501	経常経費
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポ その他					事業の区分	主要事業
	その他					担当課係等	スポーツ振興課 国体推進室
事業期間	継続 (平成29年度～令和元年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
令和元年開催の第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会開催にあたり、参加選手・大会関係者・観覧者等を温かく迎え、参加選手が万全の態勢で試合に挑めるよう、受け入れ態勢を整えて大会の成功を目指す。				平成23年に茨城県知事が国体誘致を表明し、同年に日本体育協会において茨城国体を了承し開催が決定した。他市においては、結城市同様に準備委員会を設置した後、実行委員会へ移行して大会の開催に向けた取り組みを図っている。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会結城市実行委員会において各種計画・要項等の審議・決定 ・先催県視察による検証 ・リハーサル大会をとおりしての問題点、改善点の検証 ・開催啓発活動 ・市民協働による花いっぱい運動の展開 				<ul style="list-style-type: none"> ・第74回国民体育大会の参加選手及び競技関係者並びに観覧者 ・大会を支えるボランティア等の運営スタッフ 			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				開催の認知度が低いため、認知度向上の取り組みにより大会開催の醸成を図る必要がある。 また、大会運営において市民協働を展開することは、今後の市民活動の発展に大きな役割を果たす。			
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】	
事業終了							

■事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	24,263			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	15,730	39,117			
歳入計(千円)		15,730	63,380			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	11 需用費	266	12			
	12 役務費	71	368			
	18 備品購入費	3,683	0			
	19 負担金補助及び交付金	11,708	63,000			
	27 公課費	2	0			
歳出計(千円)(A)		15,730	63,380			
伸び率(%)			302.92			
備考	総合計画 ページ 予算書 183 ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	会議の開催	回	目標	7.00	5.00	0.00
	実行委員会関連会議の開催		実績	7.00	0.00	0.00
	開催啓発活動	回	目標	12.00	12.00	0.00
	イベント・広報啓発活動の実施		実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	資料作成	個	目標	10.00	5.00	0.00
	策定した大会の計画及び要項		実績	2.00	0.00	0.00
	参加人数	人	目標	2,500.00	1,000.00	0.00
	PR活動における市民参加数		実績	3,500.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	茨城県全体で取り組んでいる事業であり、その必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	実行委員会を組織し、市民を巻き込んだ大会運営を行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	先催県を参考にしつつ結城市ならではの特色ある事業展開を図っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	前例がない事業につき、改善の余地はある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	受益者は、大会に関係者および一般観覧者等に限られるが、その性質上、公平を欠くものではない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	リハーサル大会を行い、改善点を見出せた事により成果向上が図られた。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画は、概ね順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
過剰な施設整備や過剰演出は、財政負担に結び付く事から、適正で効率的な大会運営を行う。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
前例がない事業につき、問題点や課題等はその都度、改善を図り、大会終了後も市民協働に結び付く事業展開を図る。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☒ 廃止・終了</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>今年度開催をもって終了</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>